

ぐんまで頑張る職業人の熱意をレポート!

柴崎龍吾の課外授業

Vol.30

うすい学園代表取締役の柴崎龍吾が街に飛び出して、元気に働く人にインタビュー。子どもたちのために、職業の多様性や働くことの意味を毎号レポートしていきます!



エフエム群馬にてインタビュー内容を放送中! 毎週月曜 ワイド番組「ユウガチャ!」内 16:41頃~



うすい学園代表取締役 柴崎龍吾
大学在学中に劇団を主宰し、卒業後は放送作家として活動。1975年に個人塾「横川学習塾」を開校し、以降、うすい学園を展開。子育てや教育に関する著書多数、ラジオ番組出演中。

今月の職業人

群馬サファリパーク 獣医 中川真梨子さん



▲福岡県北九州市出身。獣医歴は7年で、群馬サファリパークで働き始めて2年半。群れ飼育をしている同所では、早く群れに戻すことを念頭に置いて、飼育員と治療方針を検討する場合も多い。獣医と飼育員の連携は必要不可欠だと話す。◀個性や性格はもちろん、顔つきもさまざま。そこが動物の魅力だと話す中川さん。「草食動物は肉食動物よりも顔の見分けがつきづらいですね」と笑う

群れ飼育ならではの難しさも 獣医としてのやりがい

柴崎 今回の群馬サファリパークで獣医として働く中川真梨子さんにお話を伺います。群馬サファリパークといえば、実に多種多様な動物がいますが、現在どれくらいの数がいるのでしょうか?

中川 現在、園内では約90種、850頭羽を飼育しています。

柴崎 すごい数ですね!ネコ科とかクマ科、ゾウ科など、園内にはさまざまな分類階級の動物がいると思いますが、何人の獣医さんが働いているのでしょうか?

中川 私を含めて獣医は3人ですね。

柴崎 たった3人とは驚きです。中川さんの1日の仕事の流れを教えてください。

中川 まず午前中に、入院している動物の経過を診ます。次に園内を一周して動物たちの様子を確認します。午後は、例え

ば手術など大きな治療を行いますね。柴崎 大型の動物や肉食の動物などいますが、怖くないですか?

中川 治療には麻酔を使用しますし、怖さを知っているからこそ、適切な麻酔や器具を使用して対応しています。こちらが怖いという気持ちは伝わるので、平気な顔をしながら、必ず退路を確保して治療に臨むなど安全性には気をつけています。

柴崎 中川さんは、なぜ獣医を目指したのでしょうか?

中川 月並みですが、やっぱり小さな頃から動物が好きだったんです。虫取りや、カエル、サンショウウオの卵を採って育てて遊んでいました。獣医を志したのは、自宅で飼っていた犬が死んでし

まったのがきっかけでしたね。柴崎 獣医系大学を卒業すると、動物病院に勤めたり、公務員として公営動物園に勤務したりと道はさまざまですが、なぜサファリパークだったのですか?

中川 小さな頃から動物園が身近になり、大学の実習で行って面白そうだと感じていました。中でもサファリパークは動物を自然に近い形で、群れで飼育するので野生に近い魅力を感じたんです。

柴崎 群れ飼育ならではの難しさはありますか?

中川 動物は弱みを見せまいと、怪我や体調不良を隠します。また野生では群れ落ちは生死に関わるので、治療を最優先にできない時もあります。個々の動物の性格などは飼育員の方が何倍も理解しているので、連携しながら適切なタイミングで治療を行っています。

柴崎 獣医のやりがいは何でしょうか? 中川 今の職場では、動物たちが隠そうとしている怪我や不調を、しっかりと観察することで見つけ出して、治療してあげること。それと、繁殖に携われるのは大きな魅力ですね。

柴崎 群馬サファリパークでは、何をみて、感じて欲しいですか? 中川 小さくても大きくても、動物が生きていること。そしてそこから、命の大切さを、感じて欲しいですね。

柴崎 それぞれに個性があり、人間をちゃんと見ているのが、動物の面白い部分だと話す中川さん。群れで飼育しているからこそ、動物の些細な動きや様子などから、何を考えているのか、どんな状況にあるのかなどを観察する面白さも、サファリパークならではのチャレンジな笑顔で話してくれました。それではまた

次回!



高崎・前橋・伊勢崎・安中・太田周辺の学習塾。中高一貫教育や幼児~大学受験生までの一貫教育に強い地域密着型学習塾「うすい学園」

☎027-310-1919 <http://www.usuigakuen.co.jp/>

Facebookはじめました。「柴崎龍吾の課外授業」の過去記事もUPしています。ぜひご覧ください。